

事業概略書

事業名	児童思春期精神科における専門医療従事者の養成のための実地研修プログラム開発に関する研究事業
事業目的	<p>子どもの精神医療が未曾有の混乱状況を迎えていることは、過去数年の間に、一般の注目するところとなっている。ことに、発達障害問題の深刻化は言語に絶するほどである一方で、こうした状態に対応できる医療的専門家の不足もまた深刻である。精神科医・小児科医、コメディカルのみならず、教育職、保健婦、ケースワーカーといった地域社会の専門職の養成もまた急務となっていることを忘れてならない。</p> <p>本研究の目的は、そうした時代的背景を踏まえて、子どもの精神医療従事者の養成を進めるべく、各地での講習会等のあり方を試験的に検討することにある。</p>
事業概要	<p>本研究事業は、まず北海道、東北、関東、東海、近畿、中国、四国、九州の8地域に加えて、入院治療研修が可能な三施設から、研究者19名を選び出し、研究会を組織し、研修会を計画した。その結果、研修の機会の多い関東地区を外して、7地域でそれぞれの地域の実情に基づいた規模の研修会を組織し実施することとした。加えて、日本児童青年精神医学会機関誌を利用して、入院治療研修の希望者を募った。そして、研修会参加者を対象にアンケート調査を行った。</p>
事業実施結果及び効果	<p>研修会は各地区で主として講演と事例検討を組み合わせた形で1～2日間開催した。参加者は多職種に及び、アンケート結果（838名中475名が回答）から、経験年数については4年以下25%、20年以上39%と両極に分かれる現象がみられた。また今後受けたい研修では、事例研究が53%、講義が23%とそれに次いだ。入院治療の研修経験は、参加者全員が有意義と感じていたが、実際に経験をするには、身分の問題、経済的問題があることがわかった。本結果に基づき今後各地域での研修会の定型化したプログラムが提供できた。また、入院施設での研修も本学会を窓口事業として定着していく。</p>
事業主体	<p>〒603-8184 京都府京都市北区小山西花池町1-8 (株)土倉事務所内 日本児童青年精神医学会 TEL : 075-451-4844 E-MAIL : jde07707@nifty.com</p>

(注) 1. 本様式の作成にあたっては、厚生労働省ホームページに掲載するので、一般に公開することを想定し、分かりやすい表現に努めること。

2. 本様式は、事業の概略をまとめるために作成するものであり、別途、実施した事業についての報告書冊子を必ず提出すること。